

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300132
法人名	有限会社 園田福祉サービス
事業所名	グループホーム 愛の家
所在地	鹿児島県曾於市大隅町月野1562番地3 (電話) 099-471-2220
自己評価作成日	平成23年9月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・地域に開かれた事業所を目指し、地域における認知症の啓蒙活動やデイサービスの実施、地域の方々やご家族の相談に力を入れている。
- ・入居者の思いを大切にし、認知症があっても普通の生活が出来るように本人を主体においた介護計画を立て、介護を行う。
- ・ご家族や親族との連絡を密にすることで、ケアに関することや身体的な問題、生活上の色々なことを共有し共同で入居者を支えていく。
- ・自家製の野菜を作り、安心して安全な食事を提供する。

【事業所の優れている点】

- ・事業所として、重度化した場合や終末期についての取り組みを確立しており、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明している。また、施設長と職員が一丸となり、家族の思いを大切にして医療機関と連携をとりながら支援している。
- ・地域における認知症などの啓蒙活動や市の要請での震災被害の高齢者を受け入れる等、開かれた事業所を目指して努力している。

【事業所の工夫点】

- ・防災訓練時に、近隣消防協力隊から参加があり、また、救急訓練時には、近所の人も参加するなど、地域とのつながりを大事にしている。
- ・ホームの中庭には、家庭菜園や東屋があり、利用者が屋外でもゆっくり過ごせる環境となっている。
- ・利用者の要望により、自宅訪問や墓参りなどの外出についてもできるだけ希望に添えるように支援がなされている。
- ・地域の行事への参加や踊り等の慰問や小学校や中学校の福祉ボランティアの受け入れなど、地域との交流を大切にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念を意識して介護を行う	理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも載せている。基本理念を事業所内研修や職員会議・朝礼時に確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣との交流は行うようにしている	地域の夏祭りや行事にも参加し、踊り等の慰問も受け入れている。近所の人も遊びに来たり、小学校や中学校の福祉ボランティアの受け入れ、防災訓練時に近隣消防協力隊の参加など、地域との交流を大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の家族の相談や、認知症の勉強会を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの報告は行い、助言はミーティング等で話し合い改善に向けている	運営推進会議には、家族や民生委員・市担当者・訪問看護師が出席して意見を交換している。活動内容等を説明し、意見交換では避難訓練について等、アドバイスなどがあり、運営に活かしている。外部評価の結果についても報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議への参加要請又包括支援センターと一緒に連絡協議会を持ち情報の共有を図っている</p>	<p>市役所には連絡協議会等で報告や情報交換に出向いており、市担当者とは、連携が取れている。また市役所の要請で、震災被害の高齢者を受け入れる等、協力関係が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の勉強会を行い出来るだけ身体拘束をしないケアをめざしている。家族の同意や、医師の指示により、ミトン着用の方もいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、事業所の方針を入居時に家族に説明している。年2回の研修も実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は鍵をかけないケアを実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を行うと同時に職員同士が注意しあえる関係作りに努力している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護については学んでいるが、現在は適用者はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時にしっかりと説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>行事は常に家族参加型で行い家族同士や職員との交流が持てるように強いる。意見や要望は、速やかに退所している。</p>	<p>利用者から日常の支援の中で要望を聞きとるほか、意見箱も設置している。また、家族からは、面会時等を活用して聴取しており、意見や要望に対しては、速やかに解決できるように、職員全体で改善に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員が楽しく仕事ができることは、利用者が幸せに生活できる根本だと思う。毎月のミーティング時に意見を聞く。直接言いにくい人は主任を通して言う。</p>	<p>職員会を月に1回実施し、施設長が参加して、職員からの運営に関する要望等を聞いている。施設長は朝礼の他、現場にて日常的に意見を聞き必要に応じて話し合う場を設け、主任と連携して、職員の意見や要望を聞くように心がけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>常に心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の推進や、職場内研修を行い、新しい情報や知識、技術の向上に努める。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内でグループホームの連絡協議会を作り情報の共有を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	職員全員が、利用者の望む生活を目指している為。信頼関係の構築を目指している。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	同上 家族の不安や悩みもできる限り相談に応じ信頼関係を作る。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	認知症対応型の施設なので、対象でない方もあったり、デイサービスで対応可能な方等は、その方に合ったサービスを勧める。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	共同生活者として支え合っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	常に家族を巻き込むケアを行っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	墓参りや自宅訪問など、担当者が思いやりを持って行う。	利用者の要望により、自宅訪問や墓参りなどの馴染みの人や場所への外出支援をしている。また、散歩のついでに近隣の知人に会いに行ったりして、関係の継続を支援している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者が重症化してきて利用者同士の関係性が薄れてきているが、出来るだけ居間で一緒に過ごす時間を多くもつなどの努力をしている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	他施設に入所されたり、病院へ入院されたりしても訪問やお見舞いを行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ本人の思いを引出し利用者主体のケアを行う	利用者からは、生活支援の中で思いを引出し、希望や意向の把握に努めている。意志疎通が困難な利用者には、家族から入居時や面会時に情報を得ており、職員間で情報を共有し利用者主体のケアを心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴やなじみの暮らしを大事にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者をひとからげにせず個性を重視している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人が思いを伝えられる時は、しっかりその思いを聞き、重度の認知症の方の場合は、主治医や家族、介護スタッフ等の十分な観察や話し合いが必要である。	普段の生活の中で、利用者や家族に意見を聞いて介護計画を作成し、カンファレンスにて話し合い、現状に即したプランを作成している。モニタリングを定期的に行い、計画を見直している。状態が変化した場合は、随時見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに則した記録の仕方や、本人の生活が読み取れるような記録の仕方を工夫し、今後のケアにつなげる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の希望に応じて病院受診や入退院の支援をしたり、自宅へのお泊まり等は車や介護用品等の貸し出しをした利家族への支援も行う</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>現在はボランティアの受け入れや、福祉用具等の借入を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームの協力医だけでなく、利用者が望む医師に診てもらえるよう支援している。</p>	<p>希望のかかりつけ医への支援体制を整えている。協力医療機関の医師が2週間に1回の定期健診等の往診をしている。通院は、家族の協力を得ながら適切に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護、介護と仕分けをせずケアを行っているが、看護師でないと出来ない仕事もあるため、報告や連絡はしっかり行う。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合も地値に病院看護師と連絡を取り、情報を共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護はご家族が希望されれば、おこなっている。終末期の問題はとても難しく、早い段階で話し合いを行うが、事業所の出来ることにも限界があり、ご家族の思いに添えないこともある。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応について、入居時に事業所の方針を説明している。看取りについて「医療介護及び事前指定書に関する同意書」に同意をもらっている。事業所の方針を全職員が共有し、家族と話し合い、主治医と連携してできるだけ支援していけるように実践している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年間に2回以上は急変や事故発生時の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>主に火災時の避難訓練が多いが夜間を想定して行う。又近隣消防協力隊の参加による訓練も年1回は行っている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施しており、近隣消防協力隊も参加している。救急訓練は近所の人も参加し、消火器の訓練を実施している。スプリンクラーも設置完了し、非常用の食料・水も備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
			次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	今年1月に利用者の尊厳を守るというテーマで言葉かけや対応について実践研修を行いスタッフ全員で努力を行っている。	入職時に新人教育を一週間行い、施設長が利用者の人格の尊重とプライバシーの確保について研修している。事業所内実践研修や日々のミーティング時など、日頃から個人を尊重したケアを実践できるように努めている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に目配りや気配りを怠らず、本人の思いに気づくようにしている。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活にリズムは個々に自由である。職員の都合による介護は禁止している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	現在は重度化してきて、お化粧品は出来なくなつたが、散髪や髪染め等身だしなみは常に心がけている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主に野菜の下ごしらえや、皮むきであるが参加することを喜ばれる。	庭の菜園で収穫した新鮮な野菜などを使い、調理を行っている。行事食や外出時等の弁当も、利用者が食べやすいように常に気を配っている。利用者はできる範囲で食事の下ごしらえなど手伝っており、職員と利用者が同じテーブルを囲んで食事をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶や汁物を飲まない人に対して、果物やゼリーなどを工夫して飲んで頂く		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	寝たきりの方の場合はがーぜで口腔内をきれいにしたり洗面所でのうがいや歯磨きの支援を行う。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄パターンに添ってトイレに誘導し便器に座って頂く。自立へむけた支援と同時に上下肢の筋力低下防止を支援する。	排泄チェック表を作成しており、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけを行い、トイレ誘導を行い、上下肢の筋力低下防止を支援しながら、できるだけおむつをしない、排泄の自立に向けた支援を行っている	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く取り入れた食事を提供することで便秘の改善を促す		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	
			次のステップに向けて期待したい内容		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	出来るだけ本人の希望を尊重するが、入りたい日に入れないこともある。職員の都合に合わせて曜日や時間を決めることはない。	入浴は週に3回のペースであるが、利用者の希望を尊重している。一人ひとりがくつろいだ気分で入浴できるように、個別に入浴支援をしている。入浴剤などで気持ちよく入浴できるように配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠や休息に関して束縛はない		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が飲んでる薬の理解と服薬確認、症状の変化には常に気を配り、最善を尽くす努力をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんでもらったり、新聞を1枚ずつたたんだりそれぞれに役割を楽しんでやって下さる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の命日やお盆や正月の墓参り、衣類の買い物、時計の修理等の外出支援は行っている。	天気のよい日は、中庭の散策や近所の散歩を実施している。買物や外出・墓参りなど、個別の外出希望にもできるだけ対応している。花見等の季節行事の外出支援もしている。歩行困難な利用者にもリフト車での外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持はあまりされていない。買い物ツアーは年間2回ほど行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけて欲しいと言われた時は家族と話ができるように援助する</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は常に快適に過ごせるよう努力している。</p>	<p>ホールは、ゆったりとしており、採光もよく利用者の作品などの飾り付けがしてある。畳の部屋やソファが設けられ、ゆっくり過ごせる居心地のよい場所となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間では個々の利用者ごとに自然に自分の居場所が定まっている。一人で動けない人に関してはスタッフが居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	出来るだけ、自宅で愛用していた、なじみの家具を持ってきて頂き自分の部屋であることを認識して頂き安心感を持ってもらえるようにする。	居室は、洋室でベッドと収納スペースがある。居室には本人の使い慣れた家具等や位牌・家族の写真等が飾ってあり、安心感を持って暮らせる配慮がなされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	建物全体がバリアフリーになっておりローカ、トイレ、浴室等は手すりが設置してある。場所がわかるように「便所」「風呂」等の張り紙がある。		

V アウトカム項目A棟

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない